

令和6年度 「運営に関する計画」



「最終反省」

大阪市立蒲生中学校

令和7年2月

大阪府立 蒲生中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

安心安全の城東区との連携事業 SSR(スクールサポートルーム)の活用により、不登校状況が改善した生徒の比率は増加しているものの大阪府が掲げる目標とは大きな差がある。関係諸機関と連携しながら少しでも目標に近づきたい。また、不登校生徒は増加傾向にあり、SSR(スクールサポートルーム)のさらなる活用と不登校への小さなサインを見逃さない体制作りが重要である。

学力面において、チャレンジテストの全教科平均では大阪府・大阪府を上回っているが、下回る教科もある。そのため、教科ごとに結果を分析し、改善できるよう学力向上支援チーム事業と校内授業研究および授業アンケートを連動させ一層の学力の向上に取り組んでいく。ICT機器は使用頻度の増加と効果的な活用方法の工夫が必要である。

体力面においてはコロナ禍で下降傾向にあるため、「スポーツをすることは好き」な生徒を増やしていきたい。

環境面では教職員のワークバランスとICT機器の使用頻度の増加と効果的な活用方法の工夫を目標とする。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】****[大阪府共通目標]**

- 令和7年度の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を65%以上にさせる。
- 令和7年度の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度83.5%)

[学校目標]

- 令和7年度の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度92.5%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】**[大阪府共通目標]**

- 令和7年度の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- 令和7年度の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。

[学校目標]

- 令和7年度の大阪府中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比をいずれの学年も1.03以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

〔大阪市共通目標〕

- 授業日において、生徒の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く)

〔学校目標〕

- 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。(昨年度 94%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を 45%以上にさせる。(昨年度 37.1%)

- 年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度83.5%)

〔学校目標〕

- 年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度92.5%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を昨年度より高くする。(昨年度46.2%)

- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 55%以上にする。(昨年度 53.5%)

〔学校目標〕

- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く)

〔学校目標〕

- 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。(昨年度 94%)

3. 本年度の自己評価と結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を 45%以上にさせる。
(昨年度 37.1%)

○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は 95.6%で、95%以上を達成した。(昨年度 83.5%)

○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は 96.8%で、95%以上を達成した。(昨年度 92.5%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合は、40.7%となり昨年度より高くすることはできなかった。(昨年度 46.2%)

○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合は 60.2%となり、55%以上にすることができた。(昨年度 53.5%)

○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較した結果、チャレンジテストの対府比は

3 年（国語）1.02（数学）1.07 昨年度（国語）1.01（数学）1.08

2 年（国語）1.01（数学）1.06 昨年度（国語）1.00（数学）1.03

いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させることはできなかったが、全体的にあげることはできた。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、生徒の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、1.9%で年間授業日の 50%以上を達成することはできなかったが、昨年度と比較すると全体的に活用率は向上している。

○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。1 月末現在 92%が 10 日間の年次休暇を取得した。3 月末までに取得できるよう取り組む。(昨年度 94%)

(様式2)

大阪市立蒲生中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を45%以上にさせる。 (昨年度 37.1%) ○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度 83.5%) ○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度 92.5%)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 登校支援対策委員会で情報共有し、不登校傾向にある生徒が不登校にならないようSSRやフリースクールなど関係機関と連携して取り組む。(生活指導部) 指標 登校支援対策委員会を年11回以上実施し、心の天気を週1回以上活用する。	B
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 学年の取り組みを通じて、自己肯定感を高めることで、人の役に立ちたいと感じる生徒の育成に取り組む。(各学年) 指標 1年生は職業講話、2年生は職業体験、3年生は進路講話、それぞれ実施し、また自己肯定感を高める取り組みを各学年で実施する。	B
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 生徒が安心して学校生活が送れるよう、学校全体でいじめ防止と早期発見に取り組む。また、いじめが疑われる場合は、迅速かつ適切にこれに対処し、さらにその再発防止に取り組む。(生活指導部) 指標 ・校内生徒指導研修会・連絡会を毎月実施する。 ・毎学期いじめアンケートと教育相談週間を実施し、生徒との信頼関係を構築と早期発見、早期対応に取り組む。	B
取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 校内のインクルーシブ教育の充実を図るため、通級への移行も含めた支援体制を確立する。(特別支援担当) 指標 障がいのある生徒一人一人に「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、その計画に基づいて効果的な指導や適切な支援を行う。 インクルーシブ教育研修会、連絡会を毎月実施し、特別支援在籍の生徒の情報共有を徹底する。 来年度、通級を開始するにあたり、先行実施する学校への見学、意見交流を実施する。	B

取組内容⑤【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 年に1回、外部機関によるスマホの使い方などに関する実施し、実際に起きている事案をもとに、スマホの適切な使い方を指導について取り組む。(生活指導部) 指標 生徒会を中心に学校スマホルールの運用に取り組む。	B
取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】 道徳の年間指導計画を作成し、授業時数の確保に取り組み、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。(道徳教育推進委員会) 指標 道徳の授業時数を、年 35 時間確保する。 道徳の公開授業を実施し、道徳教育の授業実践に取り組む。	B
・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①(生活指導部) ・登校支援対策委員会を毎月実施し、支援が必要な生徒の情報交換や支援の手だてを話し合うことができた。また、SSR やフリースクール等の外部機関と連携して対策にあたることができた。 ・心の天気を活用し、生徒の様子の把握や教育相談等に役立てた。 取組内容②(各学年) 1 年生：キャリア教育を多く実施することで、自己肯定感を高め、現在と将来の自分について考えることができ、次年度の職場体験につなげることができた。 2 年生：職場体験学習を実施し、それぞれの職業観を見つめなおすことができた。 3 年生：卒業生の進路講話により自己肯定感を高めることができ、自らの進路選択に繋げることができた。 取組内容③(生活指導部) ・いじめアンケートと教育相談を毎学期行い、必要に応じた対応を早期に取ることができた。 取組内容④(特別支援担当) ・「個別の支援計画」「個別の指導計画」を活用しながら個に応じた対応ができた。また、インクルーシブ教育推進委員会を毎月行い情報共有に取り組んだ。 取組内容⑤(生活指導部) ・生徒会を中心に「蒲生中スマホルール」を策定し、学校 HP に掲載するなどして活用している。 取組内容⑥(道徳教育推進委員会) ・道徳の公開授業を実施し、道徳教育の授業実践に取り組んだ。 ○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を 45%以上にさせる。 (昨年度 37.1%) ○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は 95.6%で、95%以上を達成した。(昨年度 83.5%) ○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は 96.8%で、95%以上を達成した。(昨年度 92.5%)	

次年度への改善点

取組内容①(生活指導部)

- ・生徒一人ひとりが抱える課題や背景を把握し、それぞれに応じた支援をしていく。

取組内容②(各学年)

- 1年生：次年度も引き続き、より自己肯定感を高める取り組みを実践していきたい。
- 2年生：職場体験学習を実施し、3年の進路学習につながる学習ができた。
- 3年生：進路選択において自ら考え決定することができた。

取組内容③(生活指導部)

- ・いじめアンケートや教育相談を継続して行い、生徒理解に引き続き取り組む。

取組内容④(特別支援担当)

- ・引き続き障がいのある生徒一人一人に計画に基づいて効果的な指導や適切な支援に取り組む。

取組内容⑤(生活指導部)

- ・「蒲生中スマホルール」をより多くの生徒に実践してもらえる取り組みを進める。

取組内容⑥(道徳教育推進委員会)

- ・年 35 時間授業時数を確保して、道徳教育を通して、生徒の心の育成に取り組んでいく。

(様式 2)

大阪市立蒲生中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を昨年度以上にする。 (昨年度 46.2%) ○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 55% 以上にする。(昨年度 53.5%) ○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント 向上させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 毎時間の授業のめあてを明確にし、校内研修を通じて授業力の向上をはかる。 (教務部)	A
指標 授業アンケートの「授業の進め方は丁寧でわかりやすかったか」に対する学校の全体平均値を 4.5 以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 校内公開授業の充実、相互に研修を深めることによって誰一人取り残さない学力の向上に取り組む。 (教務部)	A
指標: 学校教職員全体で公開授業を実施し、研究協議を通して授業力向上に取り組む。	
取組内容③ 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 体育の授業で補強運動(毎時間)を実施し、多くの種目を年間通して取り組むことによって健やかな体の育成に取り組む。(保健体育科)	A
指標 全学年、1 学期に新体力テストを実施し、全 8 項目のうち、4 項目以上の記録が大阪市の平均を上回るようにする。	
取組内容④ 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 健やかな体の育成に必要な運動、睡眠、食事の大切さについて食育等を通じて、基本的な生活習慣の定着に取り組む。(健康教育部)	A
指標 保健だより、食育通信を毎月発行する。 保健委員会で校内、手洗い場の石けんや生理用品の設置など衛生美化に取り組む。 文化食育委員会で、食育掲示板を毎月更新し、生徒の食育意識を高める。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容①（ 教務部 ） ・授業アンケートの「授業の進め方は丁寧でわかりやすかったか」に対する学校の全体平均値を 4.5 となり、指標達成となった。 取組内容②（ 教務部 ） ・相互授業参観を 3 度、研究協議も 1 度実施し、授業力向上に取り組むことができた。 取組内容③(保健体育科) ・毎学期 3 種目以上取り組み、新体力テストは大阪市の平均を 7 項目以上上回ることができた。 取組内容④(健康教育部) 保健だより、食育通信を毎月発行することができた。 保健委員会で校内、手洗い場の石けんの補充や生理用品の設置など衛生美化を実施した。 文化食育委員会で、毎月食育掲示板に生徒が考えたクイズや作成した新聞等を掲示し、生徒の食育意識を高めることに努めた。 ○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合は、40.7%となり昨年度より高くすることはできなかった。 (昨年度 46.2%) ○年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合は 60.2%となり、55%以上にすることができた。(昨年度 53.5%) ○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較した結果、チャレンジテストの対府比は 3 年（国語）1.02（数学）1.07 昨年度（国語）1.01（数学）1.08 2 年（国語）1.01（数学）1.06 昨年度（国語）1.00（数学）1.03 いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させることはできなかったが、全体的にあげることはできた。
次年度への改善点
取組内容①（ 教務部 ） ・今年度の指標については達成することができたので、次年度も全教科において毎時間の授業の目当てを更に明確にして授業に取り組み、今年度以上の数値を目標にしていきたい。 取組内容②（ 教務部 ） ・次年度も相互授業参観や研究協議を実施し、引き続き授業力向上に取り組んでいきたい。 取組内容③(保健体育科) ・次年度も引き続き多くの種目に取り組み、運動機会を多く設定したい。 取組内容④(健康教育部) ・次年度も各取り組みを生徒主体で取り組んでいきたい。

(様式2)

大阪市立蒲生中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く) ○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。(昨年度94%)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(推進)】 学習者用端末等の ICT 機器を活用し、生徒の情報活用能力を向上する。 (ICT 教育推進委員会)	B
指標 学習者用端末を生徒に毎日1回以上は活用できるよう取り組む。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。(昨年度94%)。	B
指標 学校閉庁日を年間7日以上設定し、教員の年次休暇取得しやすい環境を構築する。	
・ ・ ・	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容① (ICT 教育推進委員会) こころの天気の入力は昨年度に比べると向上しているが、入力率が低い学年、学級もあり、端末活用率が80%を超える日は全体の1.9%となり、達成できなかったが、昨年度と比較すると全体的に活用率は向上している。 取組内容② 年次休暇を取得しやすいよう学校閉庁日を7日間設定して取り組んだ。 令和7年1月までに92%の教員が10日以上年次休暇を取得した。3月末までに100%になるよう引き続き教員の年次休暇取得しやすい環境を推進する。
次年度への改善点
取組内容① (ICT 教育推進委員会) ICT アシスタントや次世代サポーター、デジタルドリル支援員などの ICT 活用にかかる各種支援員を利用し、端末の活用率を向上させる。また、こころの天気の入力の啓発も引き続き取り組んで端末活用率を80%以上達成できるよう取り組んでいく。 取組内容② 引き続き、年次休暇取得しやすい環境を推進して、教職員のライフワークバランスを整える。

学校アンケート(生徒)集計結果 (令和6年度12月)

設問	回答総数				割合[%]				肯定的回答[%]
	①	②	③	④	①	②	③	④	①+②
1. 学校へ行くのが楽しい。	243	222	69	31	43.0%	39.3%	12.2%	5.5%	82.3%
2. 授業は集中できる雰囲気の中で受けることができる。	125	285	111	44	22.1%	50.4%	19.6%	7.8%	72.6%
3. 授業での学習内容がわかる。	227	254	63	21	40.2%	45.0%	11.2%	3.7%	85.1%
4. 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	230	260	63	12	40.7%	46.0%	11.2%	2.1%	86.7%
5. 学校ではあいさつができています。	403	135	20	7	71.3%	23.9%	3.5%	1.2%	95.2%
6. 学校では時間を守り行動できている。	367	179	19	0	65.0%	31.7%	3.4%	0.0%	96.6%
7. 学校のきまりや規則を守っている。	387	166	12	0	68.5%	29.4%	2.1%	0.0%	97.9%
8. いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	480	59	19	7	85.0%	10.4%	3.4%	1.2%	95.4%
9. 生徒がルール違反や間違った行動をしたときには真剣にしかってくれる先生がいる。	428	123	10	4	75.8%	21.8%	1.8%	0.7%	97.5%
10. 先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる。	377	170	13	5	66.7%	30.1%	2.3%	0.9%	96.8%
11. 体育大会、文化発表会、宿泊行事などの学校行事は楽しみである。	401	127	21	16	71.0%	22.5%	3.7%	2.8%	93.5%
12. 部活動には積極的に取り組んでいる。	392	106	21	46	69.4%	18.8%	3.7%	8.1%	88.1%
13. 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。	340	115	48	62	60.2%	20.4%	8.5%	11.0%	80.5%
14. 自分には良いところがあると思う。	224	218	84	39	39.6%	38.6%	14.9%	6.9%	78.2%
15. 将来の進路や生き方について、考える機会がよくある。	228	183	105	49	40.4%	32.4%	18.6%	8.7%	72.7%
16. 家の人に学校での様子を話し、もらったプリントは必ず渡している。	204	214	105	42	36.1%	37.9%	18.6%	7.4%	74.0%
17. 家で学校の授業の復習をしている。	90	141	184	150	15.9%	25.0%	32.6%	26.5%	40.9%
18. 学校では掃除をきちんとおこない、校内美化に努めている。	331	206	20	8	58.6%	36.5%	3.5%	1.4%	95.0%
19. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	396	144	20	5	70.1%	25.5%	3.5%	0.9%	95.6%

①よくあてはまる
 ②ややあてはまる
 ③あまりあてはまらない
 ④あてはまらない

学校アンケート(保護者)集計結果 (令和6年度12月)

設問	回答総数				割合[%]				肯定的回答[%]
	①	②	③	④	①	②	③	④	
1. 子供は学校に行くのを楽しみにしている。	62	114	28	6	29.5%	54.3%	13.3%	2.9%	83.8%
2. 学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。	56	122	26	6	26.7%	58.1%	12.4%	2.9%	84.8%
3. 学校は、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。	53	131	24	2	25.2%	62.4%	11.4%	1.0%	87.6%
4. 学校の教室や廊下などは、掃除がいきとどき、きれいである。	63	118	26	3	30.0%	56.2%	12.4%	1.4%	86.2%
5. 学校は、基本的な生活習慣が身につくように指導している。	70	117	21	2	33.3%	55.7%	10.0%	1.0%	89.0%
6. 学校は、子どもの間違った行動には厳しく指導してくれる。	79	113	12	3	38.2%	54.6%	5.8%	1.4%	92.8%
7. 学校の生活指導方針に共感できる。	53	114	34	9	25.2%	54.3%	16.2%	4.3%	79.5%
8. 子供は、体育大会、文化発表会などの学校行事に積極的に参加している。	133	62	10	5	63.3%	29.5%	4.8%	2.4%	92.9%
9. 学校ホームページや通信、学校だより等を読んでいる。	76	105	28	1	36.2%	50.0%	13.3%	0.5%	86.2%
10. 子どものことについて先生に気軽に相談できる。	71	100	33	6	33.8%	47.6%	15.7%	2.9%	81.4%
11. 子どもは授業がわかりやすいといっている。	25	129	44	12	11.9%	61.4%	21.0%	5.7%	73.3%
12. 毎朝、子どもの朝食を用意している。	167	31	10	2	79.5%	14.8%	4.8%	1.0%	94.3%
13. 子どもは、あいさとをよくなるようになった。	83	97	29	1	39.5%	46.2%	13.8%	0.5%	85.7%
14. 子どもの家庭での学習時間は1時間以上である。	50	61	64	35	23.8%	29.0%	30.5%	16.7%	52.9%
15. 子どもは規則正しい生活(早寝、早起きなど)ができる。	58	95	42	15	27.6%	45.2%	20.0%	7.1%	72.9%

- ①よくあてはまる
 ②ややあてはまる
 ③あまりあてはまらない
 ④あてはまらない